

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開設時より変わらない理念で、運営方針、努力目標、指針で構成されており、項目が多く職員が把握しづらいものとなっている。	開設より10年以上たった理念を、だれもが理解しやすく、職員については、日々のホーム作りにおいて共同で実行しやすい内容に変更したい。	はじめに職員全員に、自身がどのようなホームを目指したいかの意見を聞き、次にそれぞれの優れた意見を文章にまとめてもらい、職員全員が決める目標をみつばちハウスの今後の理念とします。(すでに外部評価の実施以降、職員の意見を聞いており4月からのスタートを目指しております。)	3ヶ月
2	6	23年度は1件の身体拘束事例があり、実地指導における指摘から、代替性の検討実施を行ない、身体拘束を解除しました。このことから、身体拘束ゼロに向け努力する中で、言葉における拘束については気づかないで関わっていることがあるのではないかとと思われる。	どのような言葉が拘束(暴力)にあたるのかを研修で話し合い、理解した上で、入居者様への関わり方へ注意を払い、介護への意識を高めたい。	毎年1回は、身体拘束についての研修を行なっているが、再度定期研修の中に組み込んで、身体拘束の内容を今以上に深めたものとします。また、日々の関わり方、声の掛け方には注意を払い、入居者様が、気持良く生活していただけよう努力します。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。